



ものづくりを通して 一致団結する 大切な仲間です

吉武 瑞恵さん

MIZUE YOSHITAKE ●ヨシタケ建設(株) リフォーム担当 二級建築士



地元の商業高校を卒業後、大手メーカーに就職された吉武さん。

「建設とは直接関係のない職種でしたが、図面と向き合う機会があり『こういうのも面白いな』と興味がありました」

その後結婚・退職・出産を経験され、三人のお子さんの育児に追われる中、二級建築士の資格を取得。ヨシタケ建設(株)に就職され、まずはパートタイムで働き始められました。

**仕事も子育ても
精一杯頑張りたい**

女性が働く上で、仕事と育児のバランスは悩みの種。吉武さんは葛藤などなかったのでしょうか。

「もちろん色々な葛藤がありました。でも『子育てだけで終わりたいくない!』という思いで必死に資格を取ったので、仕事も子育ても中途半端にはしたくなかった。あの頃は休憩時間、夕食の下ごしらえに自宅に戻ったりとバタバタしていました。私なりに精一杯やっていましたね」

**立場や性別を超えて…
一致団結する「仲間」です!**

建築部門を一人でこなされている吉武さんの業務内容は、設計、現場管理、打合せ等、多岐に渡ります。現場においては男性の中で指示を出したり、意見を総括したりする立場です。

「性別を気にすることはあまりないですね。私は建築の分野から『こうした』ものを提案して、現場の方々が経験と知識をもって、カタチにしてくれる。そこには性別や肩書きの垣根はなく、ものづくりを中心に一致団結する『仲間』といった感じです」

特に困難な状況の時ほど、団結力は高まると言われます。

「消費税が上がる直前、駆け込み需要の時期に行った大規模な古民家のリフォームは、本当に大変でした。納期までの期間が短い中で、材料も手に入りにくくて。増税開始が延びてくれないかなと思った



梁などを残し、古民家ならではの良さを活かしたリフォーム

りもしましたね(笑)。でもその分、完成した時の感動はひとしおで、現場の皆さんと一緒に『やったー!』と喜び合いました」

**女性が参加することで
より新しい建設業になれば**

徐々に増えているとはいえ、まだまだ男性中心の建設業界。これからの女性進出について伺いました。

「ひとつの業種の中にも、力強さであったり、繊細さであったり、男性の得意な分野、女性の得意な分野がありますよね。たくさん女性の皆さんが建設業に携わることで、補い合い、より素晴らしい、そして新しいものが出来ればいいなと思います。」

女性を応援する施策もこれから充実してくれればいいですね」

好きだから続けられる

やりがいのある仕事です

建設業を目指す女性にメッセージ



子供達が成人し、仕事に打ち込める今、私は仕事が本当に楽しいです。いくつになっても、やりがいがある。好きだから続けられる仕事だと思っています」

人材不足を受け、国も建設業の女性就業者を増やす施策を積極的に行っている昨今。男性と女性が共に働きやすい業界となることで、建設業が新たなステージに進むことを期待しています。

ジをお願いします。

「女性は子育てが始まると、どうしても時間や体力的に余裕がなくなると、仕事を続けられない。その後も復帰はできないんじゃないか? という不安を持たれている方も多いかと思いますが、子育てにみずれ終わりがきます。パートタイムでもいいので自分のできる範囲で、仕事と繋がっておくと、本格的な復帰もしやすいのではないのでしょうか。また、若くて仕事に打ち込める時期には、できるだけ資格をとって、手に職をつけておくと役立ちます。」